

令和8年度 学校経営計画

| | |
|-----|-------------|
| 学校名 | 石川県立金沢西高等学校 |
| 校長 | 瀬戸博邦 |

1 教育目標

- (1) 自主的、意欲的な学習態度の確立
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 豊かな情操の涵養と礼儀正しく明るい校風の樹立

2 中・長期的目標

保護者や地域から信頼され、地域の中核・リーダーとなって活躍する高い志をもった人材を育成する学校づくりを目指す。

(1) 学校の現状

- ① 素直で真面目な生徒が多く、文武両道を推奨しているが、自ら考えて行動する主体性やチャレンジ精神の涵養が必要である。
- ② 生徒の進路実現に向けて、学力分析に基づいた初期指導を徹底し、3年間を見通した学習指導・進路指導計画により、教育力の向上を図っている。
- ③ 部活動の活性化やボランティア活動の推進に取り組み、人間性の陶冶を図っている。
- ④ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安心・安全な学校づくりの強化が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 計画的な進路指導と、個に応じたきめ細やかな指導によって、主体的に学力向上及び進路実現に取り組む生徒を育成する。
- ② 基本的な生活習慣の確立と、道徳教育やボランティア活動を通して、規範意識を高め、豊かな人間性と社会性を身につけた生徒を育成する。
- ③ ふるさと教育、地域との連携を通して、地域の文化や歴史、自然等への愛着と敬意を育み、国家や社会に貢献する態度を育成する。
- ④ 状況に応じて適切な安全行動がとれるよう、生徒の判断力と実践力を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 高い専門性と幅広い視野を持ち、授業力および教育力の向上のため、日々研鑽に努める。
- ② 学習指導、進路指導、生徒指導、および部活動指導を密接に連携させ、組織としての指導力を向上させる。
- ③ 保護者や地域社会へ向けた情報発信を充実させ、開かれた学校づくりを通して、確かな信頼と協力を築く。
- ④ 限られた時間の中で、教材研究・授業準備や生徒と向き合う時間を十分に確保するため、教育活動全般を見直す。
- ⑤ 部活動については、教職員の負担軽減と適切な指導時間の確保を両立し、生徒の学業・心身の健康が調和した健全な育成を多角的に推進する。
- ⑥ 関係機関との連携のもと、安心・安全な危機管理体制を確立し、地域に信頼される学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 教育活動全般を通して、失敗を恐れずチャレンジする心を育み、未知の領域へと踏み出す勇気と決断力を養う。
- ② ICTの効果的な活用を通じ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に努め、確かな学力の育成を図り、進路実現につなげる。
- ③ 組織的な教育活動を通して、生徒の規範意識を高め、将来の主権者としての自覚を促し、自立した社会人たる判断力・行動力を養う。
- ④ 文武両道の実践を通じて部活動を効率化・活性化し、心身の錬磨により人間力を高め、飽くなきチャレンジ精神を培う。
- ⑤ ボランティア活動や積極的な情報発信を通じて、保護者・地域との連携を深め、信頼と支援に支えられた学校づくりを推進する。
- ⑥ 「教職員の多忙化改善に向けた取組方針」に基づき、業務の平準化や見直しによる時間外勤務の縮減を進め、ワークライフバランスを重視した学校マネジメントを推進する。
- ⑦ 刻々と変化する状況を的確に判断し、自らの身を守るための最善の安全行動を選択・実践できる「主体的な行動力」を養う。